

けるほか、国際通信を 向けに溶接電極を手が た銅合金鋳鍛造メーカ 1941年に創業し 自動車や鉄鋼産業 た家業の 続いてき 歳を機に 「ずっと

高品位な素材を供給す 敗が許されない分野に や航空機など決して失 支える光海底ケーブル 何とかしなければ」と きめ細かく応える。 課 存亡を傍観できない。

の思いで転身。大和合

題をひたむきにクリア

す」方針。

機向けの出荷を増や しながら、今後は航空

らなる新合金での新規

量、高難度のニーズに

献することが当社の使 社長は先代の茂雄氏の を世界に提供し社会貢 次男。今年に入りバト ノを受けた。 3代目の萩野源次郎 そのために縦横無 「銅合金 と不思議がる声も。 も健在。社員からは ードワーカーぶりは今 とのつながりを何より 時代から培ってきたハ 金に入社した。研究者 「いつ寝ているのか」

りにも社長として注力 する」と抱負を語る。 尽に駆け回りたい。営 業が動きやすい土壌作 大学院では化学を専 私共に大きな支えとな 大学時代の絆は今も公 っている。 大切にしており花王、 中堅メーカーとして 約30億円。今後3カ年 野を支えてきた。 で3割増となる4億円

ち込んだ。日本経済が の開発に夜昼問わず打 攻。花王で柔軟剤など 不況に喘いだ99年、 30 動きの速さを生かし少 受けることが信条。身 しい開発依頼を喜んで 他社が嫌がる仕事、 難 現行の事業基盤を維持 率は5~10%を安定的 とが目標だ。経常利益 に確保。 「自動車など

強まで伸ばしていくこ 現在同社の売上高は R。 ここ数年中国など で受注実績を積んだ。 し積極的に技術をP 昨年には航空関連の

生産を期待。また、

強い開発とスムーズな

を取得。「今年に入り UNJISQ9100 品質規格で欧米でも通 欧州大手の航空機で、 持ってほしい」と話す。 せっかいを言う勇気を 時には先方を思ってお することを見失わず 「客先のために仕事を

新造機の素材として採 笑顔を見せ 用された」と 後一歩まで迫った。 で鍛錬し全日本大会へ ット部に所属。合宿所

大学時代は体育会

ヨ

る。

休日に時間ができた

の合金を供給する。さ が、今後は摺動性や耐 ミ青銅の素材が中心だ 磨耗性に優れる黄銅系 現在はアル いう。 らまた海に出たい」と

源次郎氏

の軸受け材として拡販 の整備関連の商いが中 する。これまでは国内 円筒形の素材を足回り 航空機分野で主力の に高める」と前を見据 分野を今後は10%以上 れており「足元売り上 げの5%を占める航空 顧客の開拓も視野に入

そして次も大和にと思 しながら「まず大和に、

ってもらえることが大

事」と表情を引き締め

弛まぬ努力で磨い

エネルギーなど先端分 た技術はF1カーや新

欧州での展示会に参加 心だったが、アジアや

な営業、それを支える

従業員には積極果敢

(古瀬 唯

(はぎの・げんじろ 源次郎氏

歴

博士後期課程修了 年大和合金入社、 了、花王入社ハウス 学院理工学研究科修 う) 94年上智大学士 年宇都宮大学大 ホールド研究所、